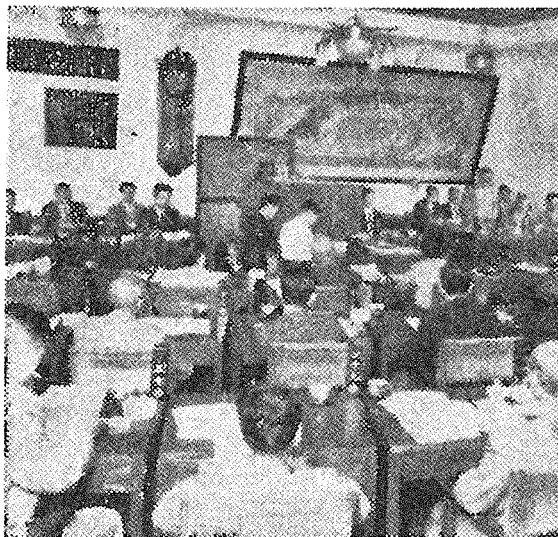




9月28日の市議会

平塚建設の方向決る

7億7千万円で5ヶ年

近代産業と

文化教育の中心地へ

去る九月二八日開会した、市議会定例会は、『平塚市建設計画』を確定し、新市建設の方向を明らかにした。この計画は、産業都市への意図をあらわにし、その具体策をとり決めたもので、三年度から三六年度にわたる五ヶ年間に、『七億七千万円』を投じてなすとげられる。

この五ヶ年計画によって、合併後の平塚市の地ならしをすませ、併合した地域と、市街地とのバランスを生んで、全市一体となり次の段階にすすむことができるものと期待されています。

基本方針

1 拡大な産業地域を開発し、土地改良や、多角経営をすすめて農業の振興につとめ、のびゆく商業とあわせて、名実ともにそなわった、産業都市をきつぎあげる。

2 都市計画を、さらに充実して、商、工、住宅などの地域をはつきりきめ、工場用地をこのえ商店街の発展をはかると同時に、大工場をさそう。これにともなう、中小工業をたすけ、農村の抱えこみ人口(次三男問題)を解消し、勤労者の住みよいまちをつくる。

3 学校や社会教育施設などを充実して、県央南部における、教育、文化の中心地にしてゆく。

4 住宅や下水、保健衛生や、社会福祉などの施設をととのえ、消防力を強めるなど、ゆたかな、明るい市民の生活をきつぎいてゆく。

5 交通、通信網を平塚を中心にする。

市役所

将来新庁舎をたてる大野に交所を、旧村役場あとにそれぞれ出張所を置いて、深く市民にむすびついた市政を行う。

教育文化

小学校の増新築
木造校舎(増)四校
延五五六坪

鉄筋校舎(新)一校 八〇〇坪
鉄筋講堂兼体育館(新)四校
延一〇〇〇坪

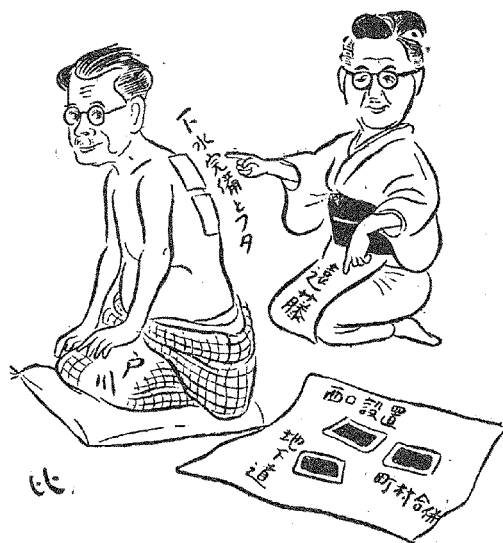
鉄筋講堂(新)二校延三三六坪
延二一七坪

木造給食場(新)四校
延二一七坪

10月1日

人口と面積

世帯 20・052世帯
人口 96・469 人
面積 59・82 km²
密度 1・613 人



市政漫歩 森比呂志

五大コウヤク肩の重荷がこんなに早くおりましたね

『愛と誠実による人の和』を心とし、資本とする戸川市政も、ここに二度目の秋をむかえ、順風に帆をあげました。須賀踏切の地下道工事も国鉄とかたく手を組んで進行中、去る9月30日には、平塚の宿望、大野ほか、周辺町村の合併を実現、あたらしい建設の段階にはいりました。

この外、大野地区に、敷地三〇〇坪、校舎五四〇坪の小学校を新設する。

中学校の増新築

木造校舎増七校延二二八二坪
木造校舎(改)一校延一九〇坪
鉄筋講堂兼体育館(新)四校
延一〇〇〇坪

幼稚園の新設二 延一四二坪
公民館の新設六(大野地区)
大野交所には市立図書館の分室を順次、各出張所に、公民館、図書館を併設し、市立図書館を拡充する。

消防

消防本部を充実し、新市域の機動力、野水槽などをあやす。

消防車 五台 同格納庫 六棟
貯水槽 一〇ヶ所 井戸三八ヶ所
サイレン六ヶ所

保けん衛生

診療所はいままで通り
関係組合立病院の充実につとめ、市立中南病院の隔離病舎を併せてゆく。

社会福祉

授産所、公営住宅、児童遊園地等を新設、四十瀬川公園を整備し、季節保育所を続けることともに、将来常設保育所を設けてゆく。

建設

環状線道路をこのえ土地区画整理事業をなしとげる。一三路線、全長二三、

農業など

工事中の、用排水路や、護岸工事をすすめる、土地改良など積極的に援助する。家畜市場、動力噴霧器一〇台、採種用納室一〇坪、三棟などを新設、家畜(牛・豚)貸与事業を行う。

(以下二ページに続く)

市長日記

(5)

きょうの、十月四日朝の新が、お、せいにふえ、みなを聞かさんになりましたか。
市長さん、像に乗って、市って来た道もちがうし、また内行進、その写真と記事が出た合併祝賀行事、これが最後、ほかの兄弟姉妹はどうで後のピリオドです。像にまた、もよいという自分本位が、悠々と、市役所前が、家のなかには一人もいなく、市長の心は、よくわかったと思いが、今後はさらに、象君も、その背に九万六千余人の市民を乗せたつもりで、用心ぶかく、ゆっくり歩いてくれました。十七貫の市長ひとりなら、重くも何ともなかったでしょうが、二万五千世帯、九万六千余人の市民を乗せたのですから、その責任は重く、落しでもしたら大変だと思ったことでしょう。その背にまたがっているわたしの気がかりが、象君に象を評すという言葉です。象は通じたのだと思いが、柱のわたくしの責任は重い。いみではなく、それらの器官が重いとわたくしは考える。にわかには世帯が大きくなったので、生命が完全に生かされるのくさつになり、父親たる市長は一人であっても、兄弟姉妹です。(十月四日)

新教育委員を任命

委員長 沖津氏・教育長に加藤氏



平塚のよきオヤジたらん感懷を象に託して市中を行く市長

産業市への体勢かたむ

農産課、商工課、国保課を新設

平塚の発達をみる、大同台農産課(石川) 京一農林水産、併美園の日から、つまり、九月三〇日から、市役所のあたらしいしくみが発足しました。
商、工、農、漁をあわせもつ産業都市をきつてにふさわしい体制をかためた、といえるでしょう。いままでの産業課を廃し、農産課、商工課、国保課の三課を新設。九月一日、これにともなう人事移動を行いました。
各課、係名は次の通りです。
総務課(岡本 昇 秘書、人事庶務、統計広報の四係)
財政課(青木 一郎 財政係、税務課(原田 広光 庶務、市民税、固定資産税、徴収の四係)
管理課(原田 武 用度、管理の二係)
農産課(石川 京一 農林水産、農政、土地改良の三係)
商工課(宮代 勝 商工観光、公営事業の二係)
民生課(緩野 正好) 市民、公衆衛生、防疫清掃、戸籍住民登録の四係、及び共同作業所、湘南院、塵芥焼却場、火葬場、大野金田、城島各診療所
国民健康保険課(山口 功) 庶務、給付、賦課徴収の三係
建設課(助役兼務) 建築、土木労務の三係
出納室(心得、原 一雄)
福祉課(木村 悟 庶務、保護の二係及び、母子寮、神田保育所)
議会事務局(市川 智) 消防本部(消防長、助役兼務)
大野支所(平野 博) 庶務、税務、経済の三係

都市計画 都市計画区域をひろげ、この達成につとめる。

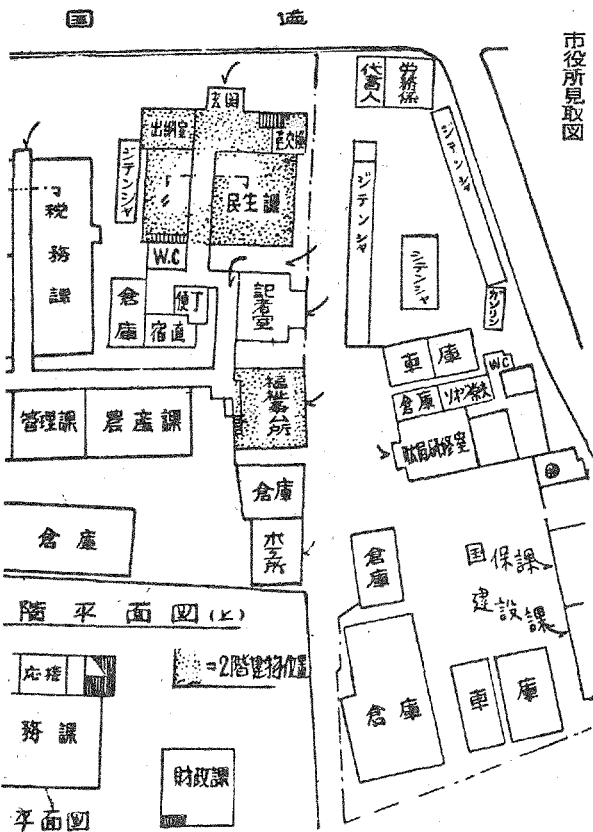
国、県に対する要望

学校敷地の払い上げ、迂回国道の完成、県道、橋の改良と拡張、農耕地を守り、工場用地をつくるための相模川の改修工事各川の保護工事、水道の延長、郵便集配区域を平塚一本にすることなく、公社に対しては、電報、電話局の区域を平塚に統合することなどについて、強く申し入れる。以上、さく骨ぐみだげをひろいました。この計画が進むにつれ、いろいろ、あたららしい事業もおこるでしょう。第二次建設計画といったような、五年以後の総合計画も、必要となってくるはず。期待と支援をお願いします。

中高校

社会教育課(渡辺善太郎) 社会教育係、市立図書館、公民館、体育館
——〇——
訂正し、公報紙第五六号の四頁下段の表中、豊田の山林、〇・三、〇・二五、城島の山林、〇・二、〇・一七山林の計四〇・九、五、樹園地の計一八・四であり、訂正します。

市役所見取図



あたらしい支金庫

平塚市支金庫として、あたらしい、次の各組合が指定され一〇月一日から、税金の収納を取扱っています。
税金を納める場合、この支金庫でも、支所、出張所、どちらでもよいというわけですが、支金庫では納期外の納めは、扱ってられませんので念のため
大野町農協・大野町農協・豊田農協・神田村農協・城島村農協・金田村農協・十沢村農協・平塚大野信用組合
このほか、旧市内にある市の金庫は、興信と駿河銀行が平塚市金庫(通称、本金庫)、平塚信用金庫や農協など、市内にある全金融機関が、平塚市支金庫になっており、本金庫二、支金庫一六を数えます

赤い羽根募金

赤い羽根共同募金も、満一〇周年をかねて、たすけあい運動として、欠くことのできない役割を果すことになりました。集まったお金は、民間の福祉事業の資金にまわされます。

今年、平塚の目標額は、一一五万九千円。

かんい保険40周年

郵便局の簡易保険が、はじまつてから満四〇年の年をむかえ、記念新加入運動が、すゝめられていきます。ちなみに平塚局の扱い高を調べて見ました。

加入 三三〇〇〇件(九月末)
保険金額 一三億六千万円(〇)



文化の日

ことよせて

十一月三日、文化の日。

市内は各種行事に賑いを呈することでしょう。このよきにふさわしい行事を、一つ加えてほしいものがあります。

それは、わが国最高の文化功勞者として尊敬する大先輩を、私達市民のうちに、起居を共にしている誇りと敬意を表する行事がありたいと思います。

昭和二年、吾が国最高の文化勲章が定められた時、第二番



国連ポスターコンクール入選作品

の尊敬の意を表することは、先輩に對する礼儀でもあり、後進の者にとつては、この上ない師表ともなつて、更に勉學の勇氣を振興させるものとなることでしょう。

国連デー

昭和二〇年一〇月二十四日、国際連合が発足してから十一年の国連デーを迎えます。

かくして「文化の日」を、私達市民に意義あらしめたいと、私は切望するのであります。

平塚三五六三、杉山久吉
(筆者・平塚市広報紙審議員)

求人案内

(男の人)

職 種	人	給与(以上)
ボーラーマン	1	月 7,000~
電 気 工	2	日 350~
ターレット見習	3	月 4,500~
三輪修理工	2	夕 6,000~
三輪運転手	2	日 600
ク	1	月 7,000~
自動車修理工	1	夕 15,000~
プレス工	5	日 350~
ガス溶接工	5	夕 350~
見 習 工	5	月 4,500~
製 罐 工	3	日 450~
電気溶接工	2	夕 400~
庭 盤 工	5	夕 350~

(女の人)

店 員	1	月 4,000~
ク	2	夕 2,000~
事 務 員	2	夕 5,000~
電 話 交 換 手	1	夕 7,000~
ミ シ ン 工	10	日 100~
ク	3	月 3,500~
看 護 婦	2	夕 5,000~

くわしくは、平塚公共職業安定所へ
TEL 平塚13

掲 示 板

きけん物
扱者しけん

石油類、カーバイド、硫酸、塩酸などの危険物を取り扱う人の、免許試験が行なわれます。

講習 一〇月二十九日午前九時

試験 一〇月三〇日 同

会場 平塚市消防本部

申込みは消防本部まで二五日まで。

履歴書、写真二葉、一〇〇円を要します。

なてしこの
種子配布

「平塚を大和なでしこのまちに」平塚史談会が育てる、なでしこのから師走にかけて、戸じま

この種子が五万粒もどれました。皆さんに無料でおわけします。

場所 市立図書館(江陽中内)

期日 一〇月二十五日まで

量 一袋五〇粒入説明書付

非常電話

犯罪や事故を、早く警察に知らせるには、「二〇番」。

ただ「警察へ」と呼んだだけでもす

ぐ出ます。

消防署へは、「二九番」、または「火事」とかけて下さい。

これからの師走にかけて、戸じま

平塚市役所総務課庶務係へ

自衛官募集中

自衛官、陸士二〇〇〇、海士九〇〇、空士二〇〇名を募集中

志願受付は十二月十五日まで

平塚市役所総務課庶務係へ

史跡を
さぐる ⑦ フタツヤの古道

平塚駅前から厚木行のバスに乗る。八幡の地域「真土入口」という停留所下車し道を左へ一町程行くと「フタツヤ」と通称するところに出る。ここに嘉永三年に建てた「石大機道、左八まんま」とした石仏の道標がある。江戸時代

の絵図をみると、この道は旧海軍火薬庫の敷地内で分岐し、ひとつは平塚新宿西端の松並木、見附のところで通じひとつは平塚宿西端の柳町に通じている。これを順礼街道(おおみち)役道(やくみち)などと古くは呼んでいた。大機宿大保の書上帳佐馬の条には「田村へ二里半。これは東海道を平塚宿地内より北方に分れ、平塚宿にては与(あづか)らずとある」大機では田村道、八王子道

などと呼んでいたのである。むかし、箱根足柄の峠を越えて相模の国坂本宿(関本)へ出た旅人たちは、道を海浜に沿って行った場合、国府津横沢、国府、大機を経て高麗の丘陵のたえたところ

も、平塚から瀬谷へ行った僧侶連も、更に小田原を攻めた謙信や信玄の軍なども、ここを通過したにちがいないと思う。高瀬徳吉記

ローカル
トピックス

では、各戸を電話器とズビーカーでむすび、超近代施設と譽が轟く。

有線放送と呼ばれ、優勝の手によって、総工費二五〇万円、一戸当り五〇〇〇円づつ負担、千葉県

の沖津有線が施工した。地区内二八五世帯が加入、交換機一人を置いて、毎日五時から夜の九時まで、モシモシと、えつ

「農村に電話を」の夢を實現したわけ、広大な新市域をこれで結ば、全市一体の耳と、広報網をもつことになるだろう。

あなたの手紙に
市内の郵便配達局が五つにも
なりました。

田村局、神田・城島の地域

金目局、金田、土沢の地域

伊勢原局、岡崎の地域

大磯局、旭の地域

平塚局、その他の市域

旧田村の字名も加わって、郵便の区分けも大変です。

あなたの出した手紙が、早く

まちがいなくとくように、宛

名、差出住所に必ず配達局名を

書き入れて下さい。

(例)平塚市金目局区内土屋〇番地、花咲かおる殿